

9月13日（金） 2024年度秋季リーグ戦第2節1回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大谷大	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
阪公大	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2

大阪大谷大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	右	竹井	2	高川学園	4	1	0	
2	三	橋口	3	島根中央	3	0	0	
3	一	俵	4	福知山成美	4	1	0	
4	指	井戸	3	市立和歌山	3	0	0	
5	左	藤原	2	大東	2	0	0	
6	遊	中浦	1	北陸	3	1	0	
7	二	永山	1	阪南大学	4	3	2	
8	捕	荒川	2	奈良大学附属	1	0	0	
	打	松下	2	大冠	1	0	0	
	捕	大林	3	大手前高松	1	0	0	
9	中	中内	2	米子松蔭	3	0	0	
投		森山	3	大東	-	-	-	
		木村	3	粉河	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	9	6	3	0	0	29	6	2

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	2	府立生野	4	2	0	
2	遊	疋田	3	広島新庄	4	2	0	
3	右	前田	2	須磨学園	3	2	2	
4	指捕	中村	4	市立西京	4	1	0	
5	三	石守	3	札幌開成中等教育学校	4	1	0	
	走	田中大	1	彦根東	0	0	0	
6	一	大西	3	長田	3	0	0	
7	左	林	1	大阪明星	2	0	0	
	打	上岡	1	泉陽	1	0	0	
	左	野田	1	須磨学園	1	0	0	
8	二	樋口	3	刈谷	3	0	0	
	打	荻沢	1	富山県立高岡	1	0	0	
9	捕	小田竜	3	県立伊丹	2	0	0	
	打	京橋	3	清教学園	1	0	0	
	投	古谷	4	県立高島	0	0	0	
投		片山	2	府立池田	-	-	-	
		山本	2	清教学園	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	2	1	1	1	1	33	8	2

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
森山	7	79	26	25	4	1	1	1	1
木村	2	23	9	8	4	1	0	1	1
合計	9	102	35	33	8	2	1	2	2

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
片山	6	113	28	21	5	6	5	2	1
山本	2	14	6	5	1	2	1	0	0
古谷	1	13	4	3	0	1	0	0	0
合計	9	140	38	29	6	9	6	2	1

【戦評】

1節の2連勝の勢いのまま、勝ちを掴みたいと挑んだ本日の一戦。

先発の片山（生2・府立池田）は初回、相手打線に3つの四球を与え二死満塁とするも、最後は捕邪飛に抑えピンチを凌ぎます。

2回表にも先頭打者に安打を許すも、硬い守備にも助けられると、この回2つの三振を奪い無失点に抑えます。

3・4回表、片山は安定した素晴らしい投球を見せ、三者凡退に打ち取ります。

一方攻撃では、相手投手を前に打線が沈黙し、3回まで全て3人で抑えられます。

最初にチャンスが訪れたのは4回裏、二死から前田（現2・須磨学園）が四球により出塁すると、頼れる主将・中村（文4・市立西京）がこの日チーム初となる安打で続き、一二塁とします。この流れのまま得点したいところでしたが後続が打ち取られ、先制点には繋がりません。

試合が動いたのは6回表。失策、四球により一死一二塁のピンチを背負うと、続く打者から二連打を浴び、この回2点を失います。

しかしその裏、阪公大打線はすぐさま反撃します。根来（経2・府立生野）が中前安打を放ち出塁すると、疋田（工3・広島新庄）も安打で続きます。一死一三塁のチャンスで打席に立ったのは好調の前田。スライダーを捉え適時打とし、1点を返します。

7回表、片山は先頭打者に安打を許し、ここでマウンドを降ります。続いてマウンドを託されたのはリーグ戦初登板の山本（文2・清教学園）。犠打、安打により三塁までランナーを許すも、捕手小田竜（工3・県立伊丹）の盗塁刺にも助けられ、この回を無失点に切り抜けます。

8回表には死球によりランナーを出すも、またしても小田竜の素晴らしい盗塁刺により、この回も3人で抑えます。

何とか追いつきたい8回裏、根来が安打により出塁すると、盗塁を決め二塁まで進みます。一死二塁のチャンスの場面でまたしても疋田、前田が安打で続き、根来は生還。同点に追いつきます。

最終回のマウンドを任されたのは古谷（経4・県立高島）。味方の失策、犠打により一死二塁とされるも、気迫のピッチングを見せ、続く打者を三振、ライトフライに打ち取り、得点を与えません。

守備の勢いのまま勝ち越したい9回裏。先頭の石守（経3・札幌開成中等教育）が左前安打により出塁すると、続く大西（法3・長田）が犠打を成功させます。その後相手の守備の乱れの間に、石守に代わり代走で出場した田中大（経1・彦根東）は三塁ベースを蹴りホームを狙うも、惜しくもタッチアウトになります。尚も続く二死二塁のチャンスで打線を繋ぎ得点したいところでしたが、後続が断たれ試合終了。2-2で引き分けとなりました。